

ともかが見た!!

10月22日 雨天翌日順延

時代祭の楽しみ方



時代祭とは…



平安神宮

時代祭は、京都三大祭の一つで、平安神宮の祭礼として毎年10月22日に行われています。明治28年（1895年）に平安遷都1100年を記念して平安神宮が創建され、それを奉祝する行事として時代祭は始まりました。現在の京都は世界中から観光客が訪れる観光都市となっています。しかし、時代祭が始まった頃の京都は、東京奠都によって著しく衰退していました。

そして、廃仏毀釈や文明開化の動きが古都の伝統破壊を促進させ、京都の伝統は軽視されていたのです。このような状況の中、**京都を復興させるために**、市民が自発的に参画できるプロジェクトの一つとして時代祭は始まりました。当日は、約2000名の市民が、各時代の装束に扮し、京都御所から平安神宮を目指して約4.5キロメートルの道のりを歩きます。

時代祭は、京都全市域からなる市民組織「平安講社」によって運営されています。全市が10社に分けられており、担当する列は予め決められています。各社は複数の学区で構成されており、毎年行列を受け持つ学区もあれば、毎年交代で奉仕する学区もあります。また、祭礼の経費は各戸から集める奉賛金が主な財源となっています。このような仕組みは時代祭が始まった当初から続いているものです。

つまり、時代祭は、京都の歴史と文化を知ることができるとともに、**京都市民が古くから培ってきた「町衆の力=自治の力」**を感じることができる祭なのです。

～時代行列の見どころ～

各時代行列に使用されている衣裳や祭具は厳密な時代考証のもとに作られています。そのため、着物、装身具、武具、乗り物などは時代ごとに微妙に変化しています。長年の間、京都が培ってきた伝統技術が集約されているため、風俗史を学ぶ上でも非常に興味深い祭であると言えます。



時代祭の魅力 ～時代行列を迎えるまでの3つの魅力～

時代祭と言えば、時代行列を思い浮かべる人が多いかもしれませんが。しかし、時代祭は 22 日の時代行列以前から楽しむことができます。ここでは時代祭の魅力をご紹介します。

①約 300 名による見事な舞踊列!!



本番一週間前になると、時代行列の主な参列者約 500 名が平安神宮に集い、行列の無事執行を祈願します。役名と名前が読み上げられ、一人ひとりに任命書 が授与されます。その後、京都市女性地域連合会の方々による「時代祭奉祝踊り足固め」が境内で行われます。約 300 名の女性が揃いの衣装を着て踊る姿はとても美しく、見応えがあります。

②本物にこだわった衣裳や祭具!!

前日には、時代行列で使用する衣裳や道具などが平安神宮に整然と並べられています。この時代祭で使用する衣裳や祭具は、厳密な時代考証がなされています。素材や染色などは当時に近い形で再現されているため、単なる仮装行列ではなく、**本物をとことん追求した時代絵巻**なのです。



③出番を待つ参列者を発見!!



本番前になると、京都御所建礼門東側で参列者が出番待ちをしています。待機中の方の近くまで行き、美しい衣裳や祭具を間近で見ることができます。参列者は何ヶ月も前から隊列や着付けの練習などを重ね、当日も早朝から着付けをして本番を迎えます。こうした市民の地道な努力が祭を支えているのです。

時代祭の楽しみ方は 22 日正午から始まる時代行列だけではありません。京都に古くから伝わる伝統や祭を支える人々の姿を知ることができます。

時代行列だけではもったいない!! 時代行列が行われるまでの背景をほんの少し知るだけで、時代行列をより一層楽しむことができるはずですよ!!



本番までの密着取材

～徳川城使上洛列（山王学区）～

2011年10月10日～10月23日、私は徳川城使上洛列を担当する山王学区の密着取材をさせていただきました。山王学区は平安講社第6社に属しており、山王学区は27年ぶりに当番学区となりました（注記）。5年前の実行委員会の立ち上げから、長い年月をかけて準備をされてきているため、時代祭は、学区の誇りを感じることができる祭でもあります。ここでは、いよいよ本番を目前に控えた山王学区の皆さんの様子と、本番を迎えるまでの様子をご紹介します!!（注記）祭り当日午前、こうした行事が実施されるのは、徳川城使上洛列だけです。ぜひ、一度ご覧ください。当番学区については、関係者にお尋ねください。



<前日の様子>



夕方から、列の先頭を歩く、槍持、傘持、鍬箱持の練習が小学校のグラウンドで行われました。「ヒーサー」という掛け声や動作、毛槍の投げ渡しが見所です。バランスをとることがとても難しく、日が暮れるまで真剣に練習をされていました。

体育館の中は衣裳や道具がならべられています。これらの衣裳や道具は、平安講社によって保管・修理が行われています。祭具の中には家が一軒買えるほどの高価なものもあり、大切に管理されています。



夜からは、着付けの講習が行われました。着付けのお手伝いをされる方が体育館に集まり、着付けのポイントなどを熱心に聞いておられました。刀の向きなど、細かく決められている部分もあるからです。当日は、アルバイトの学生を含め、大勢の着付けをするため、時間との勝負になります。特に徳川城使上洛列は時代行列の中で最大の人数。地域の方の協力は不可欠です。地域の皆さんが「い

よいよですね」と声を掛け合う姿に、時代祭への意気込みを感じることができました。

<当日の朝の様子>

当日の朝は6時ころから小学校のグラウンドで着付けが行われました。朝早くにも関わらず、お手伝いの方々が手際よく着付けをされていました。

普段は着ることのない衣裳に身を包んだ人たちの中には、携帯で写真を撮っている人もチラホラ。こうした非日常の体験は、京都の繁栄を築きあげてきた人々への感謝の気持ちや畏敬の念が生まれるきっかけになるのではないのでしょうか。



<お迎え・区内巡行>



全員の準備が整ったあと、三役（目付頭・跡乗番頭・城使）のお迎えと区内巡行が行われました。区内巡行を行うかどうかは、各行列によって異なるため、特に見ものです。

三役とは、馬に乗る目付頭、跡乗番頭、城使の三名のことで、幕が張られた三役の自宅前へ順番に巡ります。普段は車が走っている道路を、衣裳に身を包んだ人や馬が歩く姿は、独特の雰囲気があります。日頃は目にしない光景に、沿道からは歓声が上がっていました。区内巡行の後は、京都御所へと移動し、いよいよ時代行列本番を迎えます。



<<時代祭>>

日時：10月22日（雨天10月23日順延）

場所：京都御所から平安神宮

時間：12：00（～先頭到着予定時刻14：30）

アクセス

- 〔京都御所〕 場所：京都市上京区京都御苑3番
交通機関：地下鉄烏丸線 今出川駅から徒歩5分
市バス 烏丸今出川から徒歩5分
- 〔平安神宮〕 場所：京都市左京区岡崎西天王町97
交通機関：地下鉄東西線 東山から徒歩10分
市バス 京都会館美術館前から徒歩5分



行列の順序

行列は、明治時代から平安時代を翻る構成になっています。

<明治維新時代>

[維新勤王隊列](#)（第八＝中京／朱雀学区） [維新志士列](#)（京都青年会議所有志）

<江戸時代>

[徳川城使上洛列](#)（第六＝下京・南） [江戸時代婦人列](#)（京都市地域女性連合会）

<安土・桃山時代>

[豊公参朝列](#)（第十＝伏見） [織田公上洛列](#)（第五＝東山・山科、中行・下京の一部）

<室町時代>

[室町幕府執政列](#)（第九＝右京・西京） [室町洛中風俗列](#)（深草室町風俗列保存会）

<吉野時代>

[楠公上洛列](#)（第九＝右京・西京） [中世婦人列](#)（京都花街組合連合会）

<鎌倉時代>

[湘南流鏑馬列](#)（第四＝中京・下京）

<藤原時代>

[藤原公卿参朝列](#)（第三＝上京・中京）

[平安時代婦人列](#)（京都花街組合連合会・京都市地域女性連合会）

<延暦時代>

[延暦武官行進列](#)（第二＝北・上京・左京・中行の一部）

[延暦文官参朝列](#)（第一＝北・上京の一部）

<神幸列>

[神饌講社列](#)（京都料理組合有志） [前列](#)（第七＝左京） [神幸列](#)（平安神宮）

総長 [列奉行](#) [白川女献花列](#)（白川女風俗保存会） [弓箭組列](#)（亀岡市、南丹市有志）